

# TSH [シース熱電対] 内部温度測定用 ツキサシタイプ



## 【製品概要】

TSHは、シース先端を鋭角に加工し、物体に突き刺して使用するシース熱電対です。  
主に食品内部の温度計測に用いられます。

## 【標準仕様】

素線種類 : T、J、E、K  
許容差 : クラス1、クラス2  
導線数 : シングル  
測温接点 : 非接地 (標準)  
絶縁抵抗 : 500Vにて100MΩ以上

## 【特別仕様】

◇シース材質NCF600 (インコネル)

## 【オプション】

◇熱電対専用コネクタ(TKC)…P94  
◇補償導線(TCW)……………P95

## 【型式構成】

TSH - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □  
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

項目	コード	仕様
基本型式	TSH	内部温度測定用シース熱電対 ツキサシタイプ
① 許容差	1	JIS クラス 1 *補償導線クラス1使用の場合
	2	JIS クラス 2
② 素線種類	T	タイプST (銅・コンスタンタン)
	J	タイプSJ (鉄・コンスタンタン)
	E	タイプSE (クロメル・コンスタンタン)
	K	タイプSK (クロメル・アルメル)
③ 素線数	S	シングルエレメント
④ シース外径	E	φ3.2mm (SUS316)
	F	φ4.8mm (SUS316)
	G	φ6.4mm (SUS316)
	H	φ8mm (SUS316)
⑤ 挿入長	□□□	コネクタ下長さ (mm)
⑥ 補償導線	G	ビニール被覆
	H	ガラス被覆
⑦ 補償導線長	□□□	補償導線長さ (mm)
⑧ 特記事項	N	標準
	S	特殊仕様をご指定ください

※使用温度は素線種類及びシース外径により異なります。使用温度は別紙をご参照下さい。  
ただし、別紙に記載の使用温度はシース部の使用温度です。コネクタ部の耐熱温度は80℃(標準)となります。

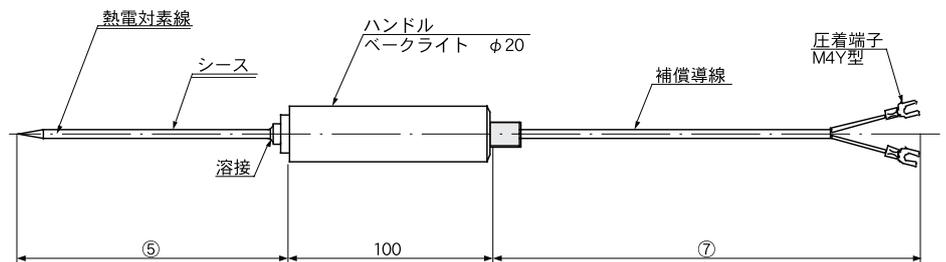
※シースとコネクタのつなぎ部分はシース外径がφ1.0の場合は接着剤による接着とし、それ以外のシース外径の場合は溶接とします。

※補償導線の使用温度範囲は下記の通りです。

被覆材	最高使用温度 (°C)	最低使用温度 (°C)
耐熱ビニール	90	-20
ガラス編組	150	0

※高温でのご使用の際はハンドル部が熱くなる場合がありますのでご注意ください。

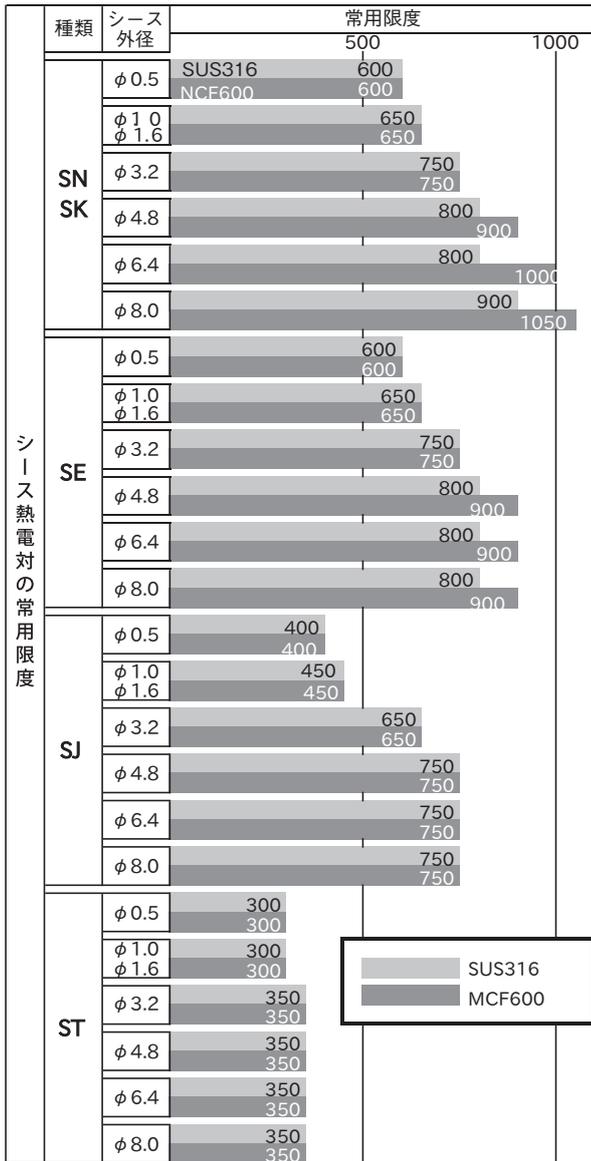
## 【外形図】



●メタルコネクタタイプは『TSM』の製品仕様書をご覧ください

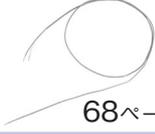
●専用コネクタ単品は『TKC』の製品仕様書をご覧ください

# 温度と用途で選ぶ 熱電対



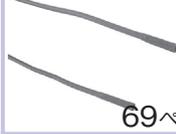
## ■狭小空間/小物体

**TDP**  
汎用/被覆熱電対  
MAX 250°C



68ページ

**TDM**  
防水・非接地タイプ  
MAX 200°C



69ページ

**TS4**  
φ1.0～シースタイプ  
MAX 1050°C



76ページ

**TSG**  
極細シースタイプ  
MAX 600°C



77ページ

## ■射出成型機/ 金型フローソルダー

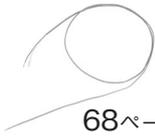
**TS4**  
φ1.0～シースタイプ  
MAX 1050°C



76ページ

## ■表面温度

**TDP**  
汎用/被覆熱電対  
MAX 250°C



68ページ

**TDM**  
防水・非接地タイプ  
MAX 200°C



69ページ

**TKS**  
厚さ0.2mm極薄型  
MAX 200°C



70ページ

**TMG**  
強力マグネット付  
MAX 200°C



71ページ

**TS4**  
φ1.0～シースタイプ  
MAX 1050°C



76ページ

## ■熱電対専用オプション

**TKC**  
専用コネクタ



94ページ

**TCW**  
補償導線



95ページ